

アスパラガス周年生産技術の開発  
(第1報)BAによる端境期どり

池内隆夫・小早川弘文

香川県農業試験場研究報告 第52号(2000年3月) 23-31

アスパラガス若茎の緑着色が濃い端境期どり作型を開発するため,BA処理後に地上部茎葉を刈り取る方法を,1および2年生株で検討した。

1. 端境期どりの若茎の緑着色は,株年生やBA処理の有無にかかわらず,濃かった。
2. 端境期どりの収量は,BA処理によって1年生株は大幅に増加し,2年生株は微増した。また,1年生株では,BA処理前に地上部茎葉の上部半分を刈り取ると,端境期どり収量が半減した。
2. BA処理によって,端境期どりの収穫開始日までの期間が短縮した株は,萌芽促進による増収効果が十分に得られた。
4. BA処理日から端境期どりの収穫最盛日までの積算温度は,BA処理によって高い増収効果があった1年生株と,わずかに増収した2年生株で,無処理区より減少した。5 端境期どりが,BA処理で顕著に増収した1年生株では,翌年の春芽どりが大幅に減収し,夏秋芽どりも減収した。また,端境期どりの増収効果が低かった2年生株では,翌年の春芽どりが増収した。

キーワード:アスパラガス・BA・端境期どり